



連合ニュース

【第27号】

発行日/2014年6月9日(月)
発行元/日本労働組合総連合会福島県連合会
会津若松地区連合会
発行人/酒井 義道
編集人/遠藤 徳雄
印刷/三洋印刷株式会社 TEL.0242-24-3667
〒965-0026
会津若松市平安町3-3 会津労働会館内
TEL.0242-24-0500 FAX.0242-24-0564

STOP THE 格差社会！労働者保護法の改悪阻止！全国一斉総行動実施



熱弁する酒井議長と応援する市議団の皆様



シュプレヒコールに団結！



応援に駆け付けていただいた市議団の皆様と事務局長の街頭アピール



政府は、労働者の働き方や働く事に関し、大きな問題を今国会に提出、改悪しようとしている。解雇の金銭解決・ホワイトカラーエグゼンプションいわゆる残業不払いの合法化・或いは派遣労働者の無期限化などであり、働くことの尊厳や労働者の立場を無視する、到底認められない企みと言わざるを得ません。安倍政権の経済政策において成長戦略の犠牲が、生産や消費を通じ国の経済持続に大きく貢献する労働者に強いることは、大変な暴挙と断じざるを得ません。私たちが連合が、全ての働く者への政策を守り、前進させることこそが、社会に共感され信頼される運動であり行動が求められています。私たちが政治的課題に対し、毅然と反対意思を示すことで、世論喚起をはかることが重要であり、連合としても政策活動を強めていかなければなりません。

つきましては、この度下記の内容で全国一斉総行動における会津地域街頭集會を開催し、会津地域連合内の士気を高め、地域の通行人やドライバーに対し声高にアピール、訴えました。各地区連合や構成組織からは、120名の結集をいただき、この会津からも全国の仲間と同じ時・同じ思いを共有しながら、威風堂々の氣勢をあげることができました。また、連合フォーラム議員団からも木村政司市議、佐野和枝市議、松崎新市議、丸山さよ子市議らの激励応援を得て、より重みのある街頭集會にさせていただきました。仕事を終った後お疲れの所を結集をいただきました熱い皆様に、深く敬意と感謝を表します。

日時：5月27日(火) 18時30分～

※会津若松地区連合役員による啓発チラシや機材配布は集會前17時45分～実施。

場所：会津若松市神明通り「神明神社前付近」

激励者：木村政司市議、佐野和枝市議、松崎新市議、丸山さよ子市議

参加者：自治労15名、電機連合18名、電力総連25名、UAゼンセン9名、JAM10名、交通労連10名、運輸労連6名、情報労連4名、私鉄総連2名、国公総連2名、化学総連2名、JFR総連2名、基幹労連2名、全水道2名、全自交労連2名、事務局1名+激励者4名 ※当日報告のあった人数です。

福島県最低賃金引き上げ・早期発効を求める署名の取り組み

パートやアルバイトを含めた全ての労働者に適用される法定最低賃金は、現在福島県の時間額は675円(前年は664円)となっております。

この水準は、全国第31位の低位にあり、隣県の宮城は696円、新潟が701円、栃木718円と比較しても大きな開きがあり、本県の賃金水準値や経済実勢指標からすると極めて低いと言わざるを得ません。他方で生活保護費との矛盾も取り沙汰されています。

ちなみに、福島県内労働者(約60万人)における最低賃金額の恩恵を受ける労働者数は、推計で約2万人と言われ、経営者サイドは最低賃金が上がればかなりの企業の経営に支障をきたすとの誇張からアップを固持するというのが、これまでの姿勢であります。従いまして、私達ナショナルセンターたる連合は、こうした実態を踏まえ、少しでも引き上げと発効の前倒しにより改善をはかり、生活の底上げ・下支えをしていくため、この署名活動に積極的に取り組んでいます。

この間、各構成組織を通じ、多方面(職域・地域)から行動し、署名環境は決して容易ではないながらも集約をしていただいていると思いますが、地区連合は別途以下の内容で街頭署名を実施することになっていますので、一端をお知らせ致します。

尚、この署名は7月下旬には福島労働局に持ち込まれ、これから始まる公労使の最低賃金審議会に重い説得力と審議に関し強力な影響力を持つものと確信します。

法定最低賃金によって守られている低い賃金で働く方々は、「ありがたい」と感じることは間違いありません！

日時：6月16日(月) 17時20分～

場所：会津若松市内神明通り「神明神社前付近」

対応者：会津若松地区連合役員25名



昨年の行動が終わって達成感であふれる表情



昨年の街頭で通行人へ必死で署名を呼び掛ける行動参加者

～すばらしい働く仲間が結集した第85回メーデーから～

2014.4.26(土)
鶴ヶ城体育館

実行委員会としての総括はすでに終了しています。評価の声もいただきました。一方で、いくつかの課題や反省点も残りましたので、これを教訓とし、可能な限り次回に生かすように努めなければなりません。

しかしそれ以上に、地域や人とのつながりを重視する多くの取り組み、そして新たな試みの取り組みに結集していただきました組合員の皆さん、何よりも勝るかけがえのない働く仲間の団結心やエネルギーは、お互いに心強く感じられたものと思いますし、その余韻を大切にしながら次回さらに進化させるべく向かっていきましょう。

また、メーデーの意義に強い想いを寄せ、物心両面の実行フォローをいただきました実行委員と各組合役員の皆さん、大変お疲れ様でした。そして、本当にありがとうございました・・・。震災を乗り越え、ふくしまの一日でも早い復興・再生をめざし、共にがんばろう！「気丈な精神力と行動力、誇り高き会津で働く仲間、永遠なれ！」



組合旗を先頭に整然と揃う参加組合員



酒井実行委員長の団結を訴えるあいさつ



議長団就任あいさつ(労福協・大塚成一氏、連合・新田健太郎氏)



メーデーゼッケンを纏い大クリーン作戦へ出陣！